



平成 30 年入会（検定職、製品検査員）

○穀検を知ったきっかけは？なぜ志望しましたか？

学校求人を通して知りました。食品の流通、検査、分析といった食品の安心・安全に深く関わっている仕事内容に興味を持ち、志望しました。

○仕事内容を教えてください。

入会当初は、食品を取り扱っている港、工場、倉庫等にて、国内産の米穀や・外国産穀物(小麦・米・トウモロコシ)の検査とサンプリング。検量人として、輸入品の重量の証明を行っていました。

現在は、厚生労働省の輸入食品監査業務の一環で、検査対象の食品に対して命令検査という検査を行う必要があるため、製品検査員として、輸入現場にて対象食品のサンプリング等の業務を行っています。

○身につけたスキルや資格はありますか？

検量人、外国産農産物検査員、命令検査員の資格を取得しました。

○職場の雰囲気や、現場での外部の方との関わりについてはどうですか？

基本和気藹々とした雰囲気ですが、証明業務を行っている時は皆さん真剣な表情で仕事をされています。現場では証明書類の作成に他証明機関の方が証明した情報が必要だったり、逆に他機関の方はこちらが証明した情報が必要だったりするので、持ちつ持たれつな関係になる事が多いです。そのため、親密な関係を築けるよう気を付けています。

○仕事、特に製品検査員として心掛けていることはありますか？

採取作業も含めて、サンプルの取り扱いは特に気を付けています。定められた採取方法で試料の抽出を行わなければ分析の結果が大きく変わる可能性があったり、持ち運びの途中で運搬容器が破損する可能性があったりするため、取り扱いには常に気を付けています。

○これから応募される方へのメッセージをお願いします。

国内産、外国産の米や麦・トウモロコシといった主食に関する業務に携わる事ができるので、食品関係の仕事に興味がある方には魅力的です。一緒に働けるのを楽しみにしています。